

病院機構だより

地方独立行政法人府中市病院機構

令和2年度事業報告

全体的な状況

令和2年度の法人全体での経営成績は、1億2,200万円の赤字決算でしたが、赤字額は前年度比較で約6,500万円の減となりました。

問い合わせ先

地方独立行政法人府中市病院機構事務局（☎45-33300）

◎府中市市民病院

入院収益、外来収益、訪問看護などの医業収益は前年度比で約6,400万円の増、給与費、材料費などの医業費用も前年度比で約7,200万円の増となりました。

令和2年度はコロナ禍の影響もあり、4～6月までの外来制限、年明けの2月からの病床制限などがありました。地域の公的医療機関としての役割を果たしつつ経営改善に努めました。

◎府中市北市民病院

医業収益は前年度比較で約300万円の減、医業費用は約1,100万円の増となりました。コロナの影響で入院収益が減少しましたが、訪問看護、訪問介護およびサービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」）などの収益が増加したことで、赤字額の増加を最小限に抑えることができました。

コロナ禍でもサ高住の入居者は順調に増えていて、病院に対する地域の信頼と期待を強く感じています。これからも医療・介護・住まいの総合的な連携による在宅支援を提供することで、地域の皆さんの生活を支えていきます。

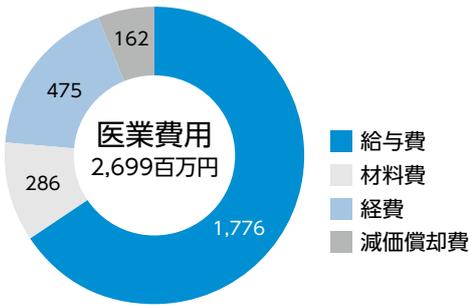
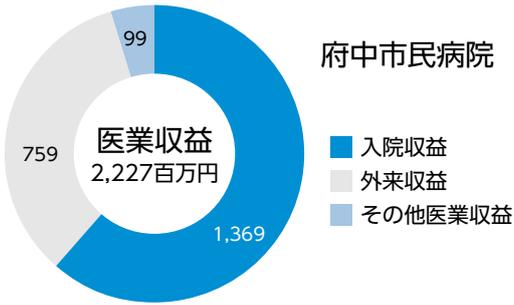
病院機構の令和2年度事業報告に対する市の評価

▽新型コロナウイルス感染症の流行により非常に厳しい一年であった中、両病院とも公立病院としての責務を果たしている。
▽結果として赤字決算となったが、コロナ禍による影響がなければ収支はほぼ均衡していたものと考えられる。
▽患者満足度調査の実施など市民から選ばれる病院づくりに取り組んでおり、今後の患者満足度の向上と接遇の改善に期待する。
▽課題としては、訓練や備蓄を初めとした災害対策、市民が欲している情報の発信、計画的な投資などが挙げられる。

決算

単位（100万円）

府中市市民病院

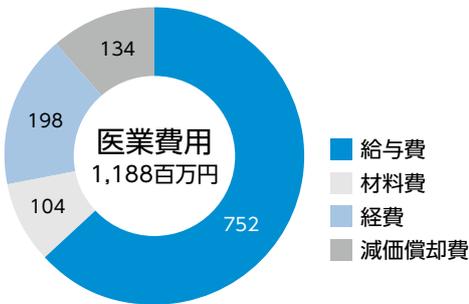
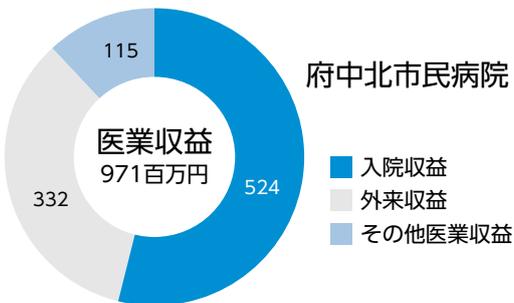


主な購入機器 自動遺伝子解析装置、電動ベット・ベットサイドレール・マット20台、多用途透析用監視装置など
購入の経費 3,878万円

決算

サービス付き高齢者向け住宅を含む

府中市北市民病院



主な購入機器 眼科医療機器一式、自動分析装置、多用途透析用監視装置など
購入の経費 3,525万円